

選挙に行こう 主権者は私たち 政治を変えて くらしを変えよう

2017年の総選挙の投票率は53.7%、前回2016年の参議院選挙の投票率は54.7%。最近、有権者の半数が投票に行かない、戦後最低ラインの投票率が続いています。

その結果生まれた「安倍政治」はどうでしょうか。政治の私物化、公文書の改ざん、データのねつ造、ウソだらけの政治。さらに、国民が望んでもいないのに、憲法9条を変えようとしています。

「どうせ、政治は変わらない」とあきらめてしまえば、「戦争への道」を許してしまうことになりかねません。貧困と格差が広がる今の政治に「NO」の声を示すチャンスが選挙です。

一人ひとりの一票で、政治は変えられます。政治を変えて、くらしを変えましょう。



消費税10%ストップ 生活できる年金を 8時間働いて、 普通にくらせる社会を

「年金だけでは足りない。2000万円必要」という金融庁の報告書に、高齢者も若者も不安と怒りでいっぱいです。

安心できる年金制度を作るのが政治の役割。その役割を放棄して、国民に自己責任をおしつけるなんて、とんでもありません。低賃金・低年金に加えて、消費税10%増税のダブルパンチでは、くらしが壊れてしまいます。

だれもが、8時間働いて普通にくらせる社会、「憲法25条が生きる社会」に変えましょう。

安全・安心 すべての土台は「平和」 9条守れ！ 東アジアの平和を

安全・安心の生活は、平和であってこそ。商売繁盛も平和であってこそ。すべての土台は「平和」です。「二度と戦争しない」と決めた憲法9条があるから、これまで日本は、戦争に巻き込まれることもなく、平和な「戦後」を続けてきました。自衛隊員が海外で殺し殺されることもありませんでした。憲法9条を変える必要などありません。変えてはなりません。

今こそ、9条を生かした平和外交をすすめるときです。

国民の声が届く政治に 市民と野党の共同で、 希望ひらこう

市民連合と野党5党会派の「共通政策」は、「安倍9条改憲は許さない」「戦争法(安保法制)は廃止」をはじめ、「消費税増税中止」「膨張する防衛予算の見直し」「すべての子ども、若者が、健やかに育ち、学び、働くための保育・教育・雇用予算を飛躍的に拡充すること」などを掲げています。

安倍政治にかわる「だれもが自分らしく暮らせる明日」を実現しましょう。希望ある明日をつくるのは、私たち主権者です。